

# 官民連携で作るJOYO子育てキャンパスプロジェクト

## 事業の概要・背景

### 【概要】

○子育て世帯を対象としたアンケートでは、気軽にお出かけできる場・交流する機会を求める声が多く、課題となっている。既存施設を活用した子どもの学び・遊び場や親子・多世代交流の機会の創出や、企業・地域団体等との連携により子どもの学びを応援するとともに、遊・学・交流の各拠点をつなぎ、まち全体を子育てにやさしいフィールド(キャンパス)に見立て、地域で一体的に子育て世代をサポートする体制を構築する。

### 【背景】

○子育て世帯を対象としたアンケートを受け、子育て世代が気軽にお出かけでき、交流することができるスペースの整備やイベントの開催が市民の求める子育て支援策の重要な要素となっている。

○市民アンケートにおいて、子どもの学び応援に対する市民の要望が強いことが伺えることから、図書館等の充実のみにとどまらず、今後多様化する社会に飛び込む小中学生の「生きる力」を伸ばす取組が必要である。

○地域全体で子どもの学びを応援するためには、市だけでなく、企業や地域団体と連携に加え、学び・遊び・交流それぞれの拠点が連携する仕組みづくりが必要である。

## 主な事業

◇: 交付対象事業  
◆: 関連事業

- ◇ 総合運動公園アスレチック遊具ネットロープ整備事業
- ◇ 総合運動公園内トイレ更新事業
- ◇ 親子参加型イベント実施事業
- ◆ 子育て支援センター運営事業

## 成果指標

- 市民の定住意向
- 文化パルク城陽及び総合運動公園利用者数
- 子育てしやすい環境づくりに向けた取組の満足度

令和2年(基準値)	令和6年(目標値)
R元/78.8%	85.0%
R元/1,466,789人	R3/1,540,128人
R元/29.4%	35.0%

## モデル性に係る取組(実現性・継続性・創意工夫)

### ポイント

- 総合運動公園では、遊具整備による「遊び」の空間の創出と併せ、子育てに係る訪問相談体制の構築や、企業等連携によるスポーツ・農業「体験」の機会の創出を図り、文化パルク城陽では、図書の実等により子育て世帯のくつろぎ空間を創出することで子どもの「学び」を促進する。
- さらに、これらの子ども・子育て世代が集う拠点をネットワーク化するための協議体を形成し、まち全体で子育て世代をサポートし、子ども・子育て世代の郷土愛醸成や定住を促す。

○ 民間の企業や団体が主体的に連携できる仕組みを構築し、スポーツ教室や青年会議所との小中学生を対象としたイベント、農育クラブとの小学生を対象とした農作物を使った収穫体験や食育体験等を実施することで地域全体が子ども・子育て世代をあたたく見守るような風土醸成につながり、継続的な事業実施が可能となる。

